

JENESYS2016（派遣プログラム）

（派遣国：マレーシア / 高等専門学校生 / テーマ：環境）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム(JENESYS2016)の一環として、日本の高専生および引率者計23名がマレーシアに派遣され、日本の経済、産学、歴史、自然、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、3月7日から3月15日までの現地8泊9日の日程でプログラムを実施しました。環境をテーマとし、マレーシアエネルギー・水・環境保全技術省および在マレーシア日本国大使館でマレーシアの環境における現状やその政策を、ホンダ・マレーシアで環境への取り組みを学びました。また、「高専」の特徴をマレーシア青年スポーツ省及び交流大学で説明しました。現地大学2校との交流では、日本の新たな魅力・強みについてユーモアを交えながら披露し、現地学生の高い関心・興味を引き出しました。参加者はこのような大変有意義な経験を通じて、現地の人々と将来に繋がる関係を築きました。多くの刺激を受けた参加者は、各々の気づきや体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前報告会では、派遣地での気づきと経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）を発表しました。

【参加校・人数】

神戸市立工業高等専門学校 23名

【訪問国】

マレーシア

2. 日程

- 3月7日（火） 【簡易オリエンテーション】
成田空港より出発 — クアラルンプール着
- 3月8日（水） 【表敬・派遣国概要紹介】エネルギー・水・環境保全技術省
【表敬・派遣国概要紹介】青少年スポーツ省
【視察】市内視察（プトラジャヤ）（車窓）
【表敬】日本国大使館
- 3月9日（木） 【学校交流】クアラルンプール大学製品デザイン・製造学部
- 3月10日（金） 【学校交流】プトラ大学第13寮
- 3月11日（土） 【市内視察】マスジッド・スルタン・サラフディン・アブドゥル・アジズ・
シャー 【ホームステイ】
- 3月12日（日） 【ホームステイ】 【市内視察】バトゥー洞窟
- 3月13日（月） 【企業訪問・視察】ホンダ・マレーシア Sdn. Bhd. マラッカ工場
【ワークショップ】
- 3月14日（火） 【報告会】クアラルンプール発
- 3月15日（水） 成田空港到着

3. プログラム記録写真

	
<p>3/8【表敬・派遣国概要紹介】エネルギー・水・環境保全技術省</p>	<p>3/8【表敬】日本国大使館</p>
<p>【Courtesy Call】Ministry of Energy, Green Technology and Water, Malaysia</p>	<p>【Courtesy Call】Embassy of Japan in Malaysia</p>
	
<p>3/9【学校交流】クアラルンプール大学製品デザイン・製造学部</p>	<p>3/10【学校交流】プトラ大学第13寮</p>
<p>【School Exchange Program】Universiti Kuala Lumpur, Institute of Product Design and Manufacturing</p>	<p>【School Exchange Program】Thirteenth College, Universiti Putra Malaysia</p>
	
<p>3/11-12【ホームステイ】</p>	<p>3/14【報告会】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 神戸市立工業高等専門学校

マレーシアで最も印象的だったのは、おもてなしと笑顔です。どこへ行っても笑顔で歓迎してくれて、道やショッピングセンターですれ違った際にも笑顔で返してくれました。このような点は日本がマレーシアを見習わなければならない点だと思います。また、現地の大学生と交流出来たことは、今後の活動に大いに役立つと感じました。私は英語を話すことが苦手なので、自分の英語が伝わるのか、うまくコミュニケーションがとれるのか等、とても不安でした。しかし、現地の学生と交流してみると、不安は一瞬にして無くなりました。自信を持って話すことが分りました。英語を話すことが苦手な日本人は多いと思います。自信を持って話してみれば相手も聞いてくれることを自らの経験として伝えていきたいと思います。もちろん英語をさらに学んでいくつもりです。第二に、想像以上に「日本」がマレーシアに浸透していると感じました。例としては、街中には日本車が多く走っており、日本製のモノが多く、日本語を話せる学生がたくさんいるなどが挙げられます。マレーシアと日本は強いつながりがあると感じました。今後さらに日本の技術がマレーシアに導入されていくと思います。この派遣プログラムに参加した自分たちこそがその架け橋となる自覚を持つべきであると思います。

◆ 神戸市立工業高等専門学校

この派遣プログラム参加前はマレーシアのことをあまり知りませんでした。しかし、この学校交流プログラムに参加したマレーシア人学生は、すでに日本のアニメや漫画、ゲームだけでなく食べ物や文化まで深く知っていましたが、日本のことを更に知りたいと、とても意欲的でした。さらに、マレーシアの人々は少なくとも三か国語を話せることが普通であることに驚きました。この事実は私にとりとても刺激的で、今後、英語や自身の専攻科目に意欲的に取り組んでいこうと思いました。農家の家でのホームステイでは、お湯が出ない、冷房もない、ネット(WiFi)も繋がらない生活を体験しました。しかし、解放感があり、風が気持ち良いと感ずることができました。これは、貴重な体験でした。日本の生活は便利を求めすぎており、技術開発ばかりを考えているのではないかと思います。今後は、この経験を生かし、日本とマレーシアの良い所を発信していきたいと思います。

◆ 神戸市立工業高等専門学校

強く印象に残ったのは①辛い食べ物②イスラム教③マレーシア人の国民性でした。私はスパイス料理が好きのため全て食べました。この味付けは暑い気候に起因するのかなと思います。ブルーモスクはとても印象深かったです。この訪問で、イスラム教徒の考え方やモスクの役割を知ることができました。一般的に、日本人にはテロ事件の報道などにより、イスラム教は怖いイメージがあります。しかし、政府機関の職員や現地大学でのマレーシア人学生との交流により、大部分のイスラム教徒はとても友好的で親切であることを知り、イスラム教は怖いものではなく、「神を信じて行動することは自分を律し、人間らしく生きてゆく」という信仰に基づいた宗教であると思いました。このプログラムで多くの有意義な経験し、イスラム教を含めた多くのことを学びました。この経験と学びを今後の活動に役立てていきたいと思います。

5. 受入れ側の感想

◆ プトラマレーシア大学

日本人学生たちの発表と実演はもちろんのこと、日本のことがすべて好きです。彼らの発表は最高に効果的なものだったので、彼らたちが何を発信したいのかがよく分かりました。情報満載の発表を見て、更に日本のことを知りたくなりました。特に、剣道の実演は素晴らしかったです。また、漫才という文化も新しく知りました。日本人学生たちはとても明るくて優しい人たちでした。衛生面や時間厳守に関しても自己管理ができていました。本日交流した日本人学生は初めて会った人ばかりでしたが、日本人を本当に好きになりました。

◆ プトラマレーシア大学

学生たちの実演はとても素晴らしかったです。そしてシンプルに構成されていたのでよく理解できました。彼らの発表と実演の方法はユニークで、私たちは目を奪われて見入ってしまいました。発表と実演から色々なことを知ることができ、日本への好奇心が膨らみました。個人的には武道に興味を覚えました。特に剣道は習いたいと思いました。日本の祭りについての発表を含めてほしかったです。

◆ クアラルンプール大学

この交流プログラムで日本の文化や技術など多くのことを学びましたが、一番印象に残ったのは日本人参加者の人間性でした。また、私のバディーから日本についていろいろ教えてもらいました。私は日本人の優しい性格が好きです。私たちに分かるように英語で一生懸命に説明してくれた姿は忘れられません。このプログラムに参加したことで日本についての知識が増えたことはうれしいことです。いつか日本に行けるようにと、心から願っています。特に、発表と実演で、特に印象に残ったこと、関心を持ったことは、空手と剣道、PPAPを全員で踊ったこと、四季のある日本に特有の季節ごとの行事の紹介、高専の紹介、学科ごとの勉強内容の説明です。

